六中だより

責任者
宮川英樹

これからの中学校部活動と中体連

文科省のガイドラインには、**「令和五年度から七年度の三年間を改革推進期間として、まずは、休日における部活動の地域連携や地域移行に取り組みつつ、地域の実状に応じて可能な限り早期の（地域移行の）実現を目指す」**とあります。

八代市でも中学校部活動の休日の地域移行に関する検討会議があっていますが、具体的な変更等はまだ示されていません。

したがって、来年度はこれまで通りの部活動が行われます。

また、全国中体連大会へのクラブチームの参加が認められたことにより、熊本県中体連大会においても、クラブチームの参加が認められます。どのような形での参加になるのか、どのようなクラブの参加を認めるのかは、種目によって違いがあるようです。

現在分かっていることは、クラブチームは県大会からの参加となることです。つまり、クラブチームは郡市の大会には参加しません。

県大会での野球等のチーム競技の出場枠は十六枠あり、来年度はそのうち一枠がクラブチームの枠として確保されます。県大会出場の一枠をかけて、県内のクラブチームが試合を行うことになります。

なお、卓球等の個人戦は、クラブチームの県大会出場枠が二枠となります。

また、選手はクラブか学校か、エントリーする方を四月二十八日までに決めなければなりません。

令和五年度と六年度の二年間はこのように決定していますが、令和七年度以降は令和五年度の状況をみて再度検討されるようです。

詳しくは、三月十日以降に熊本県中体連のホームページに種目別の規定等が掲載されるとのことでした。

【来年度の部活動及び中体連大会】
〇来年度の部活動は今年度と変わりません。今後、少しずつ休日から地域移行となりますが、八代市はまだ進んでいません。情報は随時伝えていきます。
〇県中体連大会からクラブチームの参加が認められます。
※八代中体連大会へのクラブチームの出場はありません。

生徒会主催交流会

今週は、生徒会主催の交流会が行われました。昼休みに、学年を問わず二チームに分かれてサッカーを楽しみました。

上級生に遠慮したり、しなかったりでとても微笑ましい風景がグランドに見られ、楽しそうな声が聞こえていました。

あと、数日で三年生は卒業してしまいます。一、二年生も三年生と一緒にいられるのもあと数日ということもあり、交流を楽しんでいました。

この様子は、六中のホームページにも掲載しています。

卒業式のマスク着用について

本校卒業式におけるマスクの着用については、次のようにいたします。よろしくお願いいたします。

１　<u>卒業生は、歌唱の時（国歌、校歌等）のみマスクを着用</u>し、その時以外はマスクを外すようにお願いしています。

２　<u>在校生、保護者、職員、教育委員会は常時マスク着用</u>をお願いします。
※ただし、司会者、及び卒業生の点呼時、壇上で挨拶等をする時は、生徒との距離も確保できますので、マスクを外します。
※保護者代表挨拶は、マスク着用でお願いしています。

あとがき

立志式でお話したことですが、卒業式でも「生徒のみなさんには幸せでいてほしい」と伝えるつもりです。

幸せになるのは簡単だと思っています。それは、幸せを決めるのは、自分だからです。

例えば、ポケットにあった五十円玉を見つけ「やった五十円！」と喜べば幸せだろうし「なんだ五十円か」とがっかりすれば不幸せを感じると思います。同じ事でも、どう考えるかで幸福度は変わってきます。

夏休み残り一週間も「まだ一週間ある」「もう一週間しかない」でも違います。

こう考えると、自分を喜ばせているのも苦しめているのも自分なのかもしれません。

この三年間コロナ禍で、今までのあたりまえが幸せだったことに気付きました。世界を見渡すと、砲弾等の恐怖のない生活は幸せだと感じますし、世界中そうなってほしいです。